

高山市文化芸術活動支援事業補助金
書類提出時チェックシート

項目	チェック内容	チェック欄
補助金の執行にあたり、「手続きの流れ」「留意事項」を確認しましたか？		
A. 交付申請時	1 記入例を参考に記入し、記入漏れはありませんか。	
	2 事業期間は事業終了後の精算期間も含んでいますか。 (目安:事業終了後1ヶ月以内)	
	3 補助金申請額に間違いはありませんか。補助限度額を超えていませんか。	
	4 事業予算に漏れはありませんか。検算をしましたか。	
	5 団体の規約またはこれに準ずるものと、構成員名簿を添付しましたか。	
	6 交付決定より前に事業に着手する場合、事前着手届を添付しましたか。	
B. 実績報告時	1 記入例を参考に記入し、記入漏れはありませんか。	
	2 事業決算に漏れはありませんか。検算をしましたか。	
	3 補助対象経費の支払いを確認できるもの(領収書、振込票等の写しなど)を添付しましたか。	
	4 事業の成果等が分かる書類(チラシ、プログラム、新聞記事等の写しなど)を添付しましたか。	
	5 補助対象経費の支払いを確認できるものについて、 支払いを証明する書類等はすべて添付されていますか。 コピーを添付し、原本は手元に保存してありますか。(市の会計 監査対象になるため、5年間の保存をお願いします。)	
	収支決算書と領収書等を番号で照らし合わせることができるよう整理してありますか。	
	領収書等の内容は、必要事項(領収日、宛名、金額、但し書き、 領収印)がきちんと見えるように記載されていますか。	
	任意用紙に、重ならないように貼り付けていますか。 領収書の宛名は補助事業者名の正式名称になっていますか。 報酬、謝礼、給与などの源泉徴収を行いましたか。納付したことが 分かる資料(領収証書など)を添付しましたか。(納付した所得 税は補助対象経費とする。)	
団体の控えとして、提出書類のコピーをとりましたか。		

※ご不明な点がございましたら、生涯学習課へお問い合わせください。

記入例

別記様式第1号（第4条関係）

事業開始日または事前着手日以前の日付
をご記入ください。

年 月 日

（あて先）高山市長

住 所

団体名

代表者

事業の主催団体の住所、団体
名、代表者の職氏名を正確にご
記入ください。
押印は省略可能です。

高山市文化芸術活動支援事業補助金交付申請書

年度において高山市文化芸術活動支援事業補助金交付要綱による交付を受けたいので、高山市文化芸術活動支援事業補助金交付要綱第4条の規定により申請します。

申請にあたり、私は暴力団員等、暴力団又は暴力団員等と密接な関係を有する者でないことを宣誓します。

なお、本申請の審査を行うにあたり、私の市税の納入状況を調査すること及び必要に応じ、暴力団との関係について岐阜県警察本部に照会する事を承諾します。

記

1 事業名

2 申請する補助金の種類

①継続的な

文化芸術活動支援事業補助金

②創造的な

最大3年まで申請できます。

3 事業期間

令和6年 4月 1日 ～ 令和9年 3月 31日

（令和6年度 令和6年4月1日～令和7年2月28日）

4 補助事業に要する経費

1,200,000 円

（①の場合は申請年度に係る額）

申請年度の事業期間もご記入ください。※事業終了後の精算期間も含まれます。

5 補助金交付申請額

500,000 円

6 添付書類

- (1) 事業計画書（別記様式第2号）
- (2) 収支予算書（別記様式第3号）
- (3) 団体の規約又はこれに準ずるもの
- (4) 団体の構成員名簿
- (5) その他市長が必要と認める書類

申請年度の申請額を千円未満切捨て
てご記入ください。

別記様式第1号（第4条関係）

事業開始日または事前着手日以前の日付
をご記入ください。

年 月 日

（あて先）高山市長

住 所
団体名
代表者

事業の主催団体の住所、団体名、代表者の職氏名を正確にご記入ください。
押印は省略可能です。

高山市文化芸術活動支援事業補助金交付申請書

年度において高山市文化芸術活動支援事業補助金交付要綱による交付を受けたいので、高山市文化芸術活動支援事業補助金交付要綱第4条の規定により申請します。

申請にあたり、私は暴力団員等、暴力団又は暴力団員等と密接な関係を有する者でないことを宣誓します。

なお、本申請の審査を行うにあたり、私の市税の納入状況を調査すること及び必要に応じ、暴力団との関係について岐阜県警察本部に照会する事を承諾します。

記

1 事業名

2 申請する補助金の種類

①継続的な

文化芸術活動支援事業補助金

②創造的な

3 事業期間

令和6年4月1日 ～ 令和6年10月31日

4 補助事業に要する経費

1,000,000 円

—(①の場合は申請年度に係る額)—

申請年度の事業期間をご記入ください。※事業終了後の精算期間も含まれます。

5 補助金交付申請額

200,000 円

6 添付書類

- (1) 事業計画書（別記様式第2号）
- (2) 収支予算書（別記様式第3号）
- (3) 団体の規約又はこれに準ずるもの
- (4) 団体の構成員名簿
- (5) その他市長が必要と認める書類

申請年度の申請額を千円未満切捨ててご記入ください。

別記様式第2号の1（第4条関係）

事業計画書

①継続的な文化芸術活動支援事業補助金

事業名		
事業目的		審査基準を参考に、事業の目的・概要・PR点をご記入ください。
事業の概要		根幹項目（継続的な文化芸術活動支援事業補助金の補助対象事業として適切か） <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の継承又は定着に取り組む事業で、その事業効果が計画期間以降も継続すると見込まれる事業である。 事業計画に発展性や段階性が見られる事業である。 団体の経済的な自立が見込まれる事業である。
事業に複数年で取り組む理由		<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に発展性や段階性が見られる事業である。 団体の経済的な自立が見込まれる事業である。
事業のPR点	文化の継承又は定着に関する点	共通項目（事業評価） <ul style="list-style-type: none"> 市民が文化芸術を身近に感じられる事業である。 市民が活動を通して文化的教養を得られる事業である。
	計画期間以降の事業効果の継続に関する点	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の質の高さとその維持が保証されている事業である。 明確な目的を持って計画された事業である。 事業運営や予算計画が実現可能で妥当な事業である。
	事業の自立的な運営に関する点	<ul style="list-style-type: none"> 市民や団体への波及効果が期待できる事業である。 地域の問題解決や地域活性化が期待できる事業である。 高山市の地域資源を生かす事業である。
事業のスケジュール		令和
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 年度ごとの事業内容の違い（発展性や段階性）がわかるようご記入ください。 </div>		～年度
		令和∞年度

事業費の総額		円			
年度別事業費 (円)	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
	事業費				
	補助対象経費				
	補助金 (見込額)				
主催者名					
後援団体等 (予定)					
連絡責任者名					
連絡先		〒 TEL FAX E-mail			

別記様式第2号の2（第4条関係）

事業計画書

②創造的な文化芸術活動支援事業補助金

事業名		
事業目的		<p>審査基準を参考に、事業の目的・概要・PR点をご記入ください。</p> <p>根幹項目（創造的な文化芸術活動支援事業補助金の補助対象事業として適切か）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で今までに類例がない事業、又は、発想や取り組み方に独創性が見られる事業である。 ・新しい活動者や鑑賞者の掘り起こしが期待できる事業である。 ・高山市の地域資源（人材、歴史、文化、自然、社会基盤等）の新たな発掘、再発見や再評価となる事業である。 <p>共通項目（事業評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が文化芸術を身近に感じられる事業である。 ・市民が活動を通して文化的教養を得られる事業である。 ・文化芸術の質の高さとその維持が保証されている事業である。 ・明確な目的を持って計画された事業である。 ・事業運営や予算計画が実現可能で妥当な事業である。 ・市民や団体への波及効果が期待できる事業である。 ・地域の問題解決や地域活性化が期待できる事業である。
事業の概要		
事業のPR点	これまでにない独自の発想又は新しい取り組み方に関する点	
	新しい鑑賞者又は活動者の掘り起こしに関する点	
	地域資源の新たな発掘、再発見及び再評価に関する点	
主催者名		
後援団体等（予定）		
実施日時		
会場		
連絡責任者名		
連絡先		〒 TEL FAX E-mail

別記様式第3号の1（第4条関係）

収 支 予 算 書

①継続的な文化芸術活動支援事業補助金

(収入の部)

項 目	金額（令和6年度）	金額（令和7年度）	金額（令和8年度）	小計（3ヶ年）
事業収入	0円	0円	1,000,000円	1,000,000円
協賛金	200,000円	200,000円	600,000円	1,000,000円
他の助成金 (見込または決定)	300,000円	500,000円	600,000円	1,400,000円
文化芸術活動支援事業補助金（見込額）	600,000円	1,000,000円	1,300,000円	2,900,000円
	補助金の配分の仕方は任意で構いません。			
自己財源	100,000円	500,000円	0円	600,000円
合 計	1,200,000円	2,200,000円	3,500,000円	6,900,000円

(支出の部)

項 目	金額（令和6年度）	金額（令和7年度）	金額（令和8年度）	小計（3ヶ年）
補 助 対 象 経 費	・要綱等を参考に、出来るだけ詳細にご作成ください。（別途明細を添付することも可能です。） ・個人に支払う謝礼等には、源泉所得税を税務署へ納めてください。詳しくは「文化芸術活動支援事業補助金 留意事項」をご覧ください。 ・ご不明な点をご相談ください。			
	小 計	1,200,000円	2,000,000円	3,000,000円

補助 対象 外 経 費	<p>・ケータリング(弁当、茶菓子程度)は、補助対象経費に含まれます。</p> <p>・補助対象事業の付随事業については、収入・支出ともに別会計とし、事業費に含めませんので、収支予算書に計上しないでください。</p> <p>例) 販売を目的としたプログラム・図録・書籍などの刊行物、グッズや飲食物の販売</p>			
	小 計	0 円	200,000 円	500,000 円
合 計	1,200,000 円	2,200,000 円	3,500,000 円	6,900,000 円

補助率は補助対象経費の 1/2 以内で、3年間の補助限度額は最大300万円ですが、単年度の補助限度額は(総事業費)-(総収入額)になります。(補助金を入れて黒字になる分は控除されます。)

R6 年度: 120 万円- 50 万円= 70 万円が限度

R7 年度: 220 万円- 70 万円= 150 万円が限度

R8 年度: 350 万円- 220 万円= 130 万円が限度 ※補助対象経費の 1/2 の 150 万円ではありません。

記入例:

(総事業費)-(総収入額)
が 50 万円を下回る場合

別記様式第 3 号の 2 (第 4 条関係)

収 支 予 算 書

②創造的な文化芸術活動支援事業補助金

(収入の部)

項 目	金 額	
事業収入	300,000 円	補助率は補助対象経費の 1/2 以内ですが、補助限度額は (総事業費)-(総収入額) =100 万円-80 万円 =20 万円 (50 万円以下) から、20 万円となります。 (黒字になる分は控除されます。)
協賛金	100,000 円	
他の助成金(見込または決定)	400,000 円	
文化芸術活動支援事業補助金	200,000 円	
自己財源	0 円	
合 計	1,000,000 円	

※(総事業費)-(総収入額)が 50 万円以上の場合は、50 万円が補助限度額となります。

(支出の部)

	項 目	金 額	摘 要
補 助 対 象 経 費			
			・要綱等を参考に、出来るだけ詳細にご作成ください。(別途明細を添付することも可能です。) ・個人に支払う謝礼等には、源泉所得税を税務署へ納めてください。詳しくは「文化芸術活動支援事業補助金 留意事項」をご覧ください。 ・ご不明な点はお相談ください。
	小 計	1,000,000 円	

補助対象外経費	<p>・ケータリング(弁当、茶菓子程度)は、補助対象経費に含まれます。</p> <p>・補助対象事業の付随事業については、収入・支出ともに別会計とし、事業費に含めませんので、収支予算書に計上しないでください。</p> <p>例) 販売を目的としたプログラム・図録・書籍などの刊行物、グッズや飲食物の販売</p>	
	小計	0円
	合計	1,000,000円

収支の差が0円になるようにしてください。

記入例:

(総事業費)-(総収入額)
が 50 万円を上回る場合

別記様式第 3 号の 2 (第 4 条関係)

収 支 予 算 書

②創造的な文化芸術活動支援事業補助金

(収入の部)

項 目	金 額
事業収入	200,000 円
協賛金	250,000 円
他の助成金(見込または決定)	0 円
文化芸術活動支援事業補助金	500,000 円
自己財源	250,000 円
合 計	1,200,000 円

補助率は補助対象経費の 1/2 以内ですが、補助限度額は (総事業費)-(総収入額) = 100 万円 - 45 万円 = 55 万円 (50 万円以上) となり、50 万円を超えるので、50 万円が補助限度額となります。補助対象経費の 1/2 の 60 万円ではありません。

(支出の部)

	項 目	金 額	摘 要
補 助 対 象 経 費			
	小 計	1,200,000 円	

・要綱等を参考に、出来るだけ詳細にご作成ください。(別途明細を添付することも可能です。)

・個人に支払う謝礼等には、源泉所得税を税務署へ納めてください。詳しくは「文化芸術活動支援事業補助金 留意事項」をご覧ください。

・ご不明な点をご相談ください。

補助対象外経費	<p>・ケータリング(弁当、茶菓子程度)は、補助対象経費に含まれます。</p> <p>・補助対象事業の付随事業については、収入・支出ともに別会計とし、事業費に含めませんので、収支予算書に計上しないでください。</p> <p>例) 販売を目的としたプログラム・図録・書籍などの刊行物、グッズや飲食物の販売</p>	
	小計	0円
	合計	1,200,000円

収支の差が0円になるようにしてください。

別記様式第4号（第4条関係）

年 月 日

(あて先)高山市長

事前着手日以前の日付をご記入ください。

住 所

団体名

代表者

事業の主催団体の住所、団体名、代表者の職氏名を正確にご記入ください。

押印は省略可能です。

高山市文化芸術活動支援事業補助金事前着手届

高山市文化芸術活動支援事業補助金について、別記条件を了承の上、下記のとおり交付決定前に着手したいので届け出ます。なお、本件について交付決定がなされなかった場合も、異議は申し立てません。

記

1 事業名

2 事前着手が必要な理由

3 事前着手（予定日）

事前着手日から交付決定日までに発生した経費が、補助金の交付が決定した場合に補助対象になります。
着手予定日前に支出されているものは、補助対象経費であっても補助対象になりませんので、ご注意ください。

《条件》

- (1) 本事業については、補助金交付申請日から補助金交付決定を受けるまでの間において、計画変更を行わないこと。
- (2) 補助金交付決定を受けた補助金額が、交付申請額に達しない場合においても異議がないこと。

記入例

別記様式第6号（第6条関係）

事業期間内に申請ください。

年 月 日

（あて先）高山市長

住 所

団体名

代表者

事業の主催団体の住所、団体名、代表者の職氏名を正確にご記入ください。
押印は省略可能です。

高山市文化芸術活動支援事業補助金変更（中止）承認申請書

年 月 日付けで交付決定を受けた高山市文化芸術活動支援事業補助金について、下記のとおり変更（中止）したいので、高山市文化芸術活動支援事業補助金交付要綱第6条の規定により申請します。

記

1 事業名

2 変更（中止）の理由

3 変更の内容

4 事業予算書 別添のとおり

（上記変更に伴い、事業予算が変更となった場合添付する。）

別記様式第8号（第8条関係）

事業期間終了日以降の日付をご記入ください。

年 月 日

(あて先)高山市長

住 所

団体名

代表者

事業の主催団体の住所、団体名、代表者の職氏名を正確にご記入ください。
押印は省略可能です。

高山市文化芸術活動支援事業補助金実績報告書

年 月 日付けで交付決定のあった高山市文化芸術活動支援事業を完了しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

交付決定通知書に記載の事業名と同じ名称をご記入ください。

2 補助金交付額

円

3 事業に要した経費

円

交付決定通知書（申請額を変更した場合は変更決定書）に記載の額と同じ額をご記入ください。

4 事業の実施内容及び効果

5 事業鑑賞者数

人

6 添付書類

- (1) 収支決算書（別記様式第9号）
- (2) 補助対象経費の支払いを確認できるもの（領収書、振込票等の写しなど）
- (3) 事業の成果等が分かる書類（チラシ、プログラム、新聞記事等の写しなど）
- (4) その他市長が必要と認める書類

収支決算書

（収入の部）

項目	金額	摘要
事業収入	〇〇〇,〇〇〇円	チケット収入 〇円×〇人
協賛金	〇〇〇,〇〇〇円	〇円×〇社
他の助成金(見込または決定)	〇〇〇,〇〇〇円	〇〇〇助成金（見込）
文化芸術活動支援事業補助金	〇〇〇,〇〇〇円	
自己財源	〇〇〇,〇〇〇円	
合計	〇〇〇,〇〇〇円	

用途を判別できる情報を記載
してください。(任意様式可)

（支出の部）

	項目	金額	摘要	領収証 番号
補助 対象 経 費	謝礼	〇〇〇,〇〇〇円	講師1名分	①
	宿泊費	〇〇〇,〇〇〇円	講師1名分	②
	印刷製本費	〇〇〇,〇〇〇円	プログラム 〇円×〇部	③
	通信運搬費	〇〇〇,〇〇〇円		④
	食糧費	〇〇〇,〇〇〇円	ケータリング	⑤
	会場費	〇〇〇,〇〇〇円	〇〇ホール	⑥
	小計	〇〇〇,〇〇〇円		
補助 対象 外 経 費	打ち上げ代	〇〇〇,〇〇〇円		⑦
	講師手土産代	〇〇〇,〇〇〇円		⑧
	小計	〇〇〇,〇〇〇円		
合計	〇〇〇,〇〇〇円			

領収書と照らし合わせることが出来るよう番号を振ってください。

収支の差が0円になるようご作成ください。

別記様式第11号（第10条関係）

高山市文化芸術活動支援事業補助金交付請求書

交付額決定日以降の日付をご記入ください。

年 月 日

（あて先）高山市長

（請求者）住 所

団体名

代表者

電話番号

事業の主催団体の住所、団体名、代表者の職氏名を正確にご記入ください。
押印は省略可能です。

年 月 日付けで交付額の確定のあった高山市文化芸術活動支援事業補助金について、下記のとおり補助金の請求をいたします。

記

補助金交付請求額	
補助金確定額	
補助金既交付済額	

振 込 先

銀行 農業協同組合
信用金庫 信用組合

本 店
支 店

口座番号 普通
当 座

フリガナ
口座名義人

口座番号、名義が正しいかよくご確認ください。

別記様式第12号（第10条関係）

高山市文化芸術活動支援事業補助金概算払請求書

年 月 日

（あて先）高山市長

（請求者）住 所

団体名

代表者

電話番号

事業の主催団体の住所、団体名、代表者の職氏名、電話番号を正確にご記入ください。
押印は省略可能です。

年 月 日付けで交付決定のあった高山市文化芸術活動支援事業補助金について、下記のとおり概算払いによる補助金を請求いたします。

記

補助金交付請求額	
補助金交付決定額	
補助金既交付済額	

振 込 先

銀行 農業協同組合
信用金庫 信用組合

本 店
支 店

口座番号 普 通
当 座

フリガナ
口座名義人

口座番号、名義が正しいかよくご確認ください。

支出に関する証拠書類（任意様式）

収支決算書と照らし合わせる
ことが出来るよう番号を振って
ください。

領 収 書

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日¹
団 体 名 様²

★ ￥ ○○○,○○○³

但 ○○○○として⁴

上記 正に領収いたしました
内訳
税抜き金額
消費税額等（ %）

高山 太郎 印⁵

①

- 1. 領収日
- 2. 宛名
- 3. 金額
- 4. 但し書き
- 5. 領収印

きちんと見えるように貼り付けコピーしてください。
確認できないものは、再提出をお願いする場合があります。